

運動課題の合理的な解決に向けて 主体的に取り組む方を工夫することができる生徒の育成 ー学習活動に対する目的意識のもたせ方の工夫を通してー

特別研修員 保健体育 黒岩 慎也（中学校教諭）

生徒の実態

- ・明確な目標をもてずに学習に取り組む生徒が多い
- ・反復して練習に取り組むことができる

教師の願い

- ・運動課題を明確に把握してほしい
- ・課題解決のために、知識を活用して効果的な練習を行ってほしい

学習活動に対する目的意識をもたせるための手立て

実践例
中学校3年生
バレーボール

【手立て1】 単元導入の場面 単元終了時の自分の姿をイメージする活動

単元が終わる時に自分がどうなっていたいかをイメージする

本単元で身に
付けたい技能
を確認する

試しのゲームを動画
撮影し、自分の様子
を客観的に把握する

1,2年時の学習を思い出
し、バレーボールの楽し
さについて考える

本単元終了時にどのような
ゲーム・プレイができていれ
ば「楽しい」と感じられるか
具体的な姿をイメージする

三段攻撃を
たくさん成功させている

役割分担をはっきりさせて、
ねらったプレイが決まる

チームで連携プレイが
できるようにするよ

アンダーハンドパスで
腕を振りすぎだなあ

ラリーが続くと
楽しいよね

攻撃が決まると
うれしい!

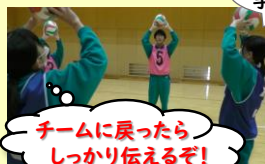
【手だて2】 追究する場面 「ジグソー法」の要素を取り入れた習得活動

複数の知識・技能をチーム内で役割分担して学習する

チーム内で役割分担して知識・技能を確認
(エキスパート活動)

役割分担の例

- オーバーハンドパス
 - アンダーハンドパス
 - スパイク
- の3グループに分かれて
技能ポイントの確認



チームに戻ったら
しっかり伝えるぞ!

オーバーの
手の形は…

確認した内容をチームに伝えて全員が習得
(ジグソー活動)



オーバーの
手の形は…

アンダーは
腕を面にして…

パスが正確になれば
三段攻撃が安定してできそう

試行錯誤

アドバイス

目的が明確な
反復練習

学習活動に対する目的意識の高まり

学習の原動力

イメージする姿に近づくための具体的な行動の表れ

動き方のポイントを理解し、動作につなげる

合理的な動き方を意識した練習・試合

できるようになりたい

イメージした姿に
近づくぞ

上達するために
何をすればいいだろう

目指す生徒像

運動課題の合理的な解決に向けて主体的に取り組む方を工夫する生徒

成果

- 単元終了時の姿をイメージすることで課題が明確になり、イメージに近づくために、確実に技能を身に付けようと試行錯誤する様子が多く見られた。
- ジグソー法の要素を取り入れることで、チームメイトに伝えるという責任感から、より深く技能のポイントを理解しようとするにつなげた。

課題

- 経験がない種目はイメージをもたせるのが難しくなると考えられる。見本動画の提示など、工夫が必要である。
- ジグソー法は、個々の生徒の表現力によってチーム間に伝達内容の差が生じる可能性がある。エキスパート活動中に伝え方を確認し合ったうえでジグソー活動に移るなどの工夫が必要である。